

情報公開文書

研究の名称：「がん薬物療法施行中の患者に対する外来栄養食事指導の効果をみる探索的研究」

1. 研究の対象となる方

2021年8月1日から2026年3月31日までの期間に、千葉県がんセンター外来でがん薬物療法が行われ、かつ、管理栄養士による外来栄養食事指導を受けた患者さん

2. 研究目的

抗がん薬を用いたがん薬物療法の治療成績は、年々向上しています。しかし、避けることのできない副作用も多く、その中には悪心・嘔吐、味覚障害、口内炎など、食事に影響を与えるものもあります。十分に栄養が摂れない状況で治療を行なった場合、期待された効果が得られないどころか、かえって病状を悪化させてしまうこともあります。この問題を解決するため、管理栄養士による栄養食事指導を積極的に行なってきました。しかし、その方法が正しいかどうかは、常に振り返る必要があります。今回の研究では診療録（電子カルテ）に記録された診療情報を見直し、これまで行なってきた指導方法の成果と問題点を評価します。研究で得られた結果は、学会や学術雑誌等での発表を予定しています。また、これからの指導をより良いものとするために役立てます。

3. 研究の用いる材料・情報の種類

診療録から、治療の方法や内容、体重の変化、検査結果、副作用や合併症、転帰などの診療情報を収集します。試料は用いません。収集した情報は、個人を容易に特定可能な情報（氏名、患者番号、生年月日、住所等）を削除して解析に用います。

4. 研究が行われる施設および研究者名

千葉県がんセンター単独の臨床研究です。研究者は、以下の通りです。

研究責任者：菊池夏希（栄養科）

研究分担者：石橋裕子（栄養科）、前田恵理（栄養科）、櫻井美夏子（栄養科・科部長）、鍋谷圭宏（副病院長）、荒井文乃（千葉県循環器病センター栄養科）、松原裕理（がん薬物療法センター・看護師長）、荻田操（がん薬物療法センター・看護副師長）、横内和代（がん薬物療法センター・看護副師長）、辻村秀樹（医療局・診療部長）

5. 個人情報の保護について

個人を容易に特定可能な情報(氏名、患者番号、生年月日、住所等)は、情報管理責任者(櫻井美夏子 栄養科・科部長)が厳重に管理します。解析終了後、解析に用いた情報は研究責任者の責任の下、施錠可能な保管庫で厳重に保管し、5 年間保存した後に完全に消去します。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際に患者さんを特定できる個人情報が用いられることはありません。

6. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、千葉県がんセンター外来化学療法科研究費を用いて行います。研究者の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

7. 研究の妥当性について

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会が承認し、病院長が研究実施を許可しています。

8. 研究対象者へのメッセージ

あなたの診療情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究責任者までお申し出ください。その場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。学会や学術雑誌等への発表前であれば、あなたの診療情報を解析対象から削除します。発表後にお申し出頂いた場合は、まことに申し訳ございませんが、あなたの情報を発表内容から削除することはできません。しかし、あなたの個人情報や研究参加の事実が、発表の内容で判明することはありません。

9. 連絡先

本研究に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

研究責任者：菊池夏希（栄養科）

住所：〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

電話：043-264-5431(代表番号)